

平成 30 年 1 月 31 日

各 位

会社名 株式会社グローバルダイニング  
 代表者名 代表取締役社長 長谷川 耕造  
 (コード番号 7625 東証第二部)  
 問合せ先 執行役員 中尾 慎太郎  
 最高財務責任者  
 T E L : 0 3 - 5 4 6 9 - 3 2 2 2

### 特別損失の計上並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 12 月期において、下記のとおり特別損失を計上する見込みとなりました。あわせて、平成 29 年 7 月 28 日に公表いたしました平成 29 年 12 月期通期業績予想を下記のとおり修正いたしますので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 特別損失の内容

当社所有の事業用資産について収益性の低下により減損の兆候が認められたため、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、単体・連結ともに減損損失 156 百万円を計上する見込みとなりました。

#### 2. 平成 29 年 12 月期（連結）通期業績予想の修正 （平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	9,942	49	63	2	0.22
今回修正 (B)	9,815	△49	△32	△222	△21.91
増減額 (B-A)	△126	△99	△96	△224	
増減率 (%)	△1.3	—	—	—	
(参考) 前期実績 (平成 28 年 12 月期)	9,755	△8	9	△80	△7.97

#### 【修正の理由】

海外においてはほぼ計画通りで進捗いたしましたが、国内において、10 月の台風等の天候不順による影響を年末にかけて盛り返したものの、売上高は当初計画を若干下回る見通しとなりました。

利益面においては、原材料費や原油価格上昇に伴う光熱費等のコストが予想を上回ったことや、上記記載の減損損失を特別損失に計上する見込みであることから、営業損失 49 百万円、経常損失 32 百万円、親会社株主に帰属する当期純損失 222 百万円を計上する見通しです。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上